



寒いが続いていますね。その中でも、あんず組の子ども達は元気いっぱい！北風にも負けず、園庭を大人と追いかけていたり、砂場遊び、築山の登り下り・ビールケース押しなどを楽しんでいる姿が見られます。さみしいもので、あんず組での生活もあと一か月余り…風邪などを吹き飛ばして、健康で元気いっぱいに過ごしていきましょう！！



4月の進級・新入当初の子どもたちから比べ、言葉が増えてきたり様々な面で成長を感じています。今月は、遊びの変化に伴う言葉についてお伝えしたいと思います。また、3月からは、たんぼぼ組への移行期間に入り、さらに子どもたちの成長を促せるよう、日々の生活の中で言葉かけや働きかけを工夫していきたいと思っています。

★言葉の獲得について

形や色、個数、大きい・小さいなど、そのものを指さしながら「緑色の電車だね」「赤くて四角い積み木が1…2…3個あるね」「赤い積み木のほうが高いね」と比べたりしながら、子どもたちそれぞれの発達段階に応じて具体的に伝えるようにしています。すると子どもたちも一緒に数えてみたり、大人やお友達と一緒に真似をしたり言葉にして楽しんでいる様子も見られます！例えばこんなおもちゃを使いながら…

**大きさの違うパズル**

**重ねカツ**



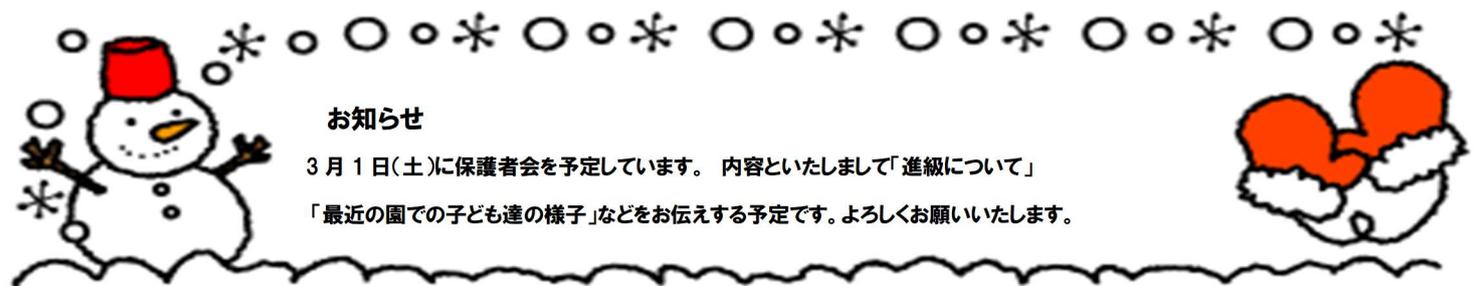
**形の違う積み木**

「これは青いね」「四角だね」などと色や形の違いに気付けるような声掛けをしています！



また、「車がブーンって通ったね、速いね」「黒いカラスがカーカーって言っているね。あっ！空に飛んでいるね。」など…『聴覚』や『感覚』『感触』のような目には見えない体で感じるようなこともあえて詳しく言葉にすることで、子ども達も「あれがカラスなんだ」「あれが車なんだ」と経験とともに言葉の理解や語彙が増えていくことに繋がります。

絵本で読んだものや、物や事象と『言葉』が一致すると、「この言葉ってこんな感じなんだ」と増々子どもたちの世界も広がっていきます♪ また、今までは大人が気持ちを代弁することが多かったのですが、今では自分で考えたことを行動に移したり、少しずつ自分の思いや考えを言葉にして伝えてくれることも増えてきました。積み木コーナーやままごとコーナーなどでは、発想を友達と一緒に共有して設定を楽しむ「ごっこ遊び」や経験を再現する「再現遊び」を友達と一緒にしている姿も見られるようになって、「入れて」や「一緒にあそぼう」など言葉で誘い合ったり、気持ちのすれ違いで「一緒にやりたかったの」や「自分でやりたいの」と大人に気持ちを話したり「終わったら貸すから」など、思いや理由も言葉にして相手に伝えるようになってきました。言葉の語彙の使い分けが少しずつ出来てきているなあと感心します。これからも子ども達の思いを受け止めて、安心して取り組めるようにしていきたいと思っています。



**お知らせ**

3月1日(土)に保護者会を予定しています。内容といたしまして「進級について」「最近の園での子ども達の様子」などをお伝えする予定です。よろしくお願いいたします。